

# 回復期脳卒中片麻痺患者の起立難易度調整による筋活動の違い に関する臨床研究の参加協力者募集のための診療録の事前閲覧 のお願い

研究責任者 所属 リハビリテーション科 職名 理学療法士  
氏名 羽根田陽平 里村茉純  
連絡先電話番号 047-453-9010

実務責任者 所属 リハビリテーション科 職名 理学療法士  
氏名 羽根田陽平 里村茉純  
連絡先電話番号 047-453-9010

当院では、上記の臨床研究を、当院倫理審査会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しております。それにあたり、当院に入院されている方において、患者さんの診療録等を事前に確認させていただいております。そのうえで、以下の「1. 対象となる方」の基準に該当される方においては、担当者より本研究のご参加についてのご希望をお伺いさせていただくことがあります。ご参加を希望されない場合は、その際に断っていただいて構いません。最終的な研究の参加は、文書による説明および同意によってなされます。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。**本通知はご参加の前段階の診療録の閲覧の周知を目的としております。事前の閲覧を望まれない患者さんは、その旨を「7. お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。**

## 1 診療録の事前閲覧の対象となる方および本研究の対象となる方

2019年08月21日より2021年12月31日までの間に、東京湾岸リハビリテーション病院にリハビリテーションのため入院した方を対象に診療録の事前閲覧をさせていただきます。その中で、本研究では以下の基準に該当する方を対象に参加を募らせていただいております。

### 選択基準

- ・年齢が20歳以上80歳未満。
- ・初発の脳卒中で片側半球のテント上病変。
- ・発症から1ヶ月以上が経過し、当院の回復期病棟に入院している。
- ・昇降ベッドを使用し介助なく起立が可能(装具の利用は可)。
- ・脳卒中以外の神経疾患を認めない。
- ・起立能力に関わる重篤な下肢の疼痛や明らかな整形外科的疾患を認めない。
- ・評価の支障となる高次脳機能障害や認知機能の低下(MMSE21点以下)を認めない。
- ・実験に対する理解および同意が得られること。
- ・主治医の許可が得られること。

## 除外基準

- ・脳卒中以外の神経疾患を有するもの。
- ・起立能力に関わる重篤な下肢の疼痛や、明らかな整形外科的疾患を認めるもの。
- ・重篤な心疾患を有し運動制限があるもの。

## 2 研究課題名

承認番号

研究課題名 回復期脳卒中片麻痺患者の起立難易度調整による筋活動の違い

## 3 研究実施機関

研究実施機関

研究責任者

東京湾岸リハビリテーション病院（主機関）

羽根田陽平 里村茉純

昭和大学（共同研究機関）

加茂野有徳

## 4 本研究の意義、目的、方法

脳卒中片麻痺患者に対し表面筋電図を用いて、座面高の調整による起立動作時の筋活動の違い、また段階的に座面高を下げていくことによる起立動作遂行の即時効果を検討することを目的とします。この研究により、座面高の調整による起立動作時の筋活動の違いを明らかにすることが可能となり、今後の臨床の一助となると考えます。

## 5 本研究に参加された場合に協力をお願いする内容

異なる座面の高さから起立動作を実施していただきます。その際、両下肢に8箇所、頸部・腰背部に1箇所、合計10箇所に電極を貼付し、起立動作時の筋活動、加速度を測定させていただきます。起立動作の回数は各座面の高さで3回であり、休息をとりつつ測定させていただきます。

## 6 本研究の実施期間

2019年08月21日～2021年12月31日

## 7 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、【本研究で用いる情報の利用】の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

- ・対応者の氏名：羽根田陽平 里村茉純
- ・所属：東京湾岸リハビリテーション病院 リハビリテーション部
- ・連絡先：TEL 047-453-9010、FAX 047-453-9002
- ・対応可能な時間帯：12:00～12:50、17:00～17:30

\*対応者が不在の場合には、お手数ではございますが改めてのご連絡をいただけますよう、よろしくごお願い申し上げます。

以上